

森林・林業基本計画骨子（案）項目立て

視 点	基本計画骨子（案）項目立て
<ul style="list-style-type: none"> ・前基本計画の目標の進捗状況、施策の評価、情勢変化等を整理。 ・上記を踏まえた政策の対応方向を整理。 ・特に、利用期を迎えた森林資源の循環利用、喫緊の課題である原木の安定供給等について方向性を整理。 ・新たな施策の展開に当たっての基本的な視点を整理。 ・5年後（平成32年）、10年後（平成37年）、20年後（平成47年）における目標値を提示。 ・5年後（平成32年）、10年後（平成37年）における目標値を提示。 	<p>まえがき</p> <p>第1 森林及び林業に関する施策についての基本的な方針</p> <p>1 前基本計画に基づく施策の評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 前基本計画に掲げた目標の進捗状況 <ul style="list-style-type: none"> ① 森林の有する多面的機能の発揮に関する目標 ② 林産物の供給及び利用に関する目標 (2) 前基本計画に基づく主な施策の評価 (3) 前基本計画策定以降の情勢変化等 <p>2 森林及び林業をめぐる情勢変化等を踏まえた対応方向</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 資源の循環利用による林業の成長産業化 (2) 原木の安定供給体制の構築 (3) 木材産業の競争力強化と新たな木材需要の創出 (4) 林業及び木材産業の成長産業化等による地方創生 (5) 地球温暖化対策、生物多様性保全への対応 <p>3 施策展開に当たっての基本的な視点</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 現場に立脚した施策の展開 (2) 新たな動きを踏まえた柔軟な施策の展開 (3) 国民理解の促進 <p>第2 森林の有する多面的機能の発揮並びに林産物の供給及び利用に関する目標</p> <p>1 目標設定に当たっての基本的考え方</p> <p>2 森林の有する多面的機能の発揮に関する目標</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 目標の意義 (2) 目標の定め方 (3) 森林の機能と望ましい姿 (4) 森林の誘導の考え方 <ul style="list-style-type: none"> ア 育成単層林・育成複層林・天然生林の区分 イ 誘導の考え方 (5) 森林の有する多面的機能の発揮に関する目標 <p>3 林産物の供給及び利用に関する目標</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 目標の意義 (2) 目標の定め方 (3) 林産物の供給及び利用に関する目標

視 点	基本計画骨子（案）
<ul style="list-style-type: none"> ・第1及び第2を踏まえ、施策を体系的に整理。 ・人工林が主伐期を迎えていること等を踏まえ、森林資源を有効活用しつつ、確実な資源造成を図るための方策を整理。 ・奥地水源等の高齢級人工林における過密化の進行や、山地災害が激甚化している状況等を踏まえ、適正な森林の整備・保全等を整理。 ・喫緊の課題である山村振興・地方創生について、森林資源を始めとした地域資源の活用による貢献策等を整理。 ・高い生産性と収益性を実現し、森林所有者の所得向上と他産業並みの従事者所得を確保できる林業経営の育成に向けた方策等を整理。 	<p>第3 森林及び林業に関し、政府が総合的かつ計画的に講ずべき施策</p> <p>1 森林の有する多面的機能の発揮に関する施策</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 面的なまとまりをもった森林経営の確立 <ul style="list-style-type: none"> ① 森林施業及び林地の集約化 ② 森林関連情報の整備・提供 (2) 再造林等による適切な更新の確保 <ul style="list-style-type: none"> ① 造林コストの低減 ② 優良種苗の確保 ③ 伐採・造林届出制度等の適正な運用 ④ 野生鳥獣による被害対策の推進 (3) 適切な間伐等の実施 (4) 路網整備の推進 (5) 多様で健全な森林への誘導 <ul style="list-style-type: none"> ① 多様な森林への誘導と森林における生物多様性の保全 ② 公的な関与による森林整備 ③ 再生利用が困難な荒廃農地の森林としての活用 ④ 花粉発生源対策の推進 (6) 地球温暖化防止策及び適応策の推進 (7) 国土の保全等の推進 <ul style="list-style-type: none"> ① 適正な保安林の配備及び保全管理 ② 国民の安全・安心の確保のための効果的な治山事業の推進 ③ 森林病虫獣害対策等の推進 (8) 研究・技術開発及びその普及 (9) 山村の振興・地方創生への寄与 <ul style="list-style-type: none"> ① 森林資源の活用による就業機会の創出 ② 地域の森林の適切な保全管理 ③ 都市と山村の交流促進 (10) 社会的コスト負担の理解の促進 (11) 国民参加の森林づくりと森林の多様な利用の推進 <ul style="list-style-type: none"> ① 多様な主体による森林づくり活動の促進 ② 森林環境教育等の充実 (12) 国際的な協調及び貢献 <ul style="list-style-type: none"> ① 国際協力の推進 ② 違法伐採対策の推進 <p>2 林業の持続的かつ健全な発展に関する施策</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 望ましい林業構造の確立 <ul style="list-style-type: none"> ① 効率的かつ安定的な林業経営の育成 ② スケールメリットを生かした林業経営の推進 ③ 効率的な作業システムによる生産性の向上 ④ 経営感覚に優れた林業事業者の育成 (2) 人材の育成・確保等 <ul style="list-style-type: none"> ① 人材の育成・確保及び活動の推進 ② 林業労働力の確保 (3) 林業災害による損失の補填

視 点	基本計画骨子（案）
<ul style="list-style-type: none"> ・喫緊の課題である原木の安定供給体制の構築に向けた施策等を整理。 ・需要構造の変化等を踏まえた木材産業の競争力強化や需要創出に向けた施策等を整理。 ・東日本大震災の復旧・復興について項目を新設し、施策を整理。 ・最近における情勢等を踏まえ所要の事項を整理。 ・最近における情勢等を踏まえ所要の事項を整理。 ・最近における情勢等を踏まえ所要の事項を整理。 	<p>3 林産物の供給及び利用の確保に関する施策</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 原木の安定供給体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ① 原木供給力の増大 ② 望ましい安定供給体制への転換 ③ マッチングの円滑化 (2) 木材産業の競争力強化 <ul style="list-style-type: none"> ① 木材加工・流通体制の整備 ② 品質・性能の確かな製品供給等 ③ 地域材の高付加価値化 (3) 新たな木材需要の創出 <ul style="list-style-type: none"> ① 公共建築物・民間非住宅・土木分野等への利用拡大 ② 木質バイオマスの利用 ③ 木材等の輸出促進 (4) 消費者等の理解の醸成 (5) 林産物の輸入に関する措置 <p>4 東日本大震災からの復旧・復興に関する施策</p> <p>5 国有林野の管理及び経営に関する施策</p> <p>6 団体の再編整備に関する施策</p> <p>第4 森林及び林業に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 すべての関係者による主体的な取組 2 施策の進捗管理と評価の適切な活用 3 財政措置の効率的かつ重点的な運用